

研究課題名：血液中マイオカイン測定 of 臨床的意義に関する検討（パイロット研究）

1. 研究の対象

2010年9月～2021年3月において国際医療福祉大学 市川病院もしくは千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科に受診・入院した（する）患者様

2. 研究目的・方法

研究の背景：近年、骨格筋からは生理活性物質が放出され、人体の生理的・病理的变化に対して様々な作用を有することが明らかとなった。この筋肉から分泌される物質はマイオカインと総称され、これまで30種類以上が見つかっているが、必ずしもその機能や臨床的意義は明らかとなっていない。本研究は当院通院中の患者様の血中マイオカインを測定し、その臨床的意義を明らかにすることであり、大規模で測定する前段階のパイロット研究である。

対象と方法：国際医療福祉大学病院や研究協力病院を受診もしくは入院した、もしくはこれからする患者を対象とし、血液中のマイオカイン（IL-6、アイリシン、R3hdm1 など）をELISA法で測定し、身長、体重、投与薬剤、腎機能、肝機能などの生化学検査や現病歴、既往歴などの患者情報をカルテから収集し、それら臨床所見と血中マイオカインとの関連を明らかにする。

（ELISA法による測定は研究協力施設の千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科にて施行する。）

研究期間：承認日以降 ～ 2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液中のマイオカイン、年齢、性別、身長、体重、血圧、使用薬剤、血算、生化学検査値、血糖値、HbA1c値、骨密度（測定されていれば）、日常生活活動度（測定されていれば）、認知機能（測定されていれば）など。

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

国際医療福祉大学 市川病院 竹本 稔

千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科 前澤善朗

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者 竹本 稔

国際医療福祉大学 市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

〒272-0827 千葉県市川市国府台 6 丁目 1 番 14 号

TEL:(047)-375-1111 (PHS:9126)

FAX:(047)-373-4921

E-Mail: minoru.takemoto@iuhw.ac.jp

研究責任者： 国際医療福祉大学 市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
竹本 稔

研究代表者：

国際医療福祉大学 市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
竹本 稔

-----以上